

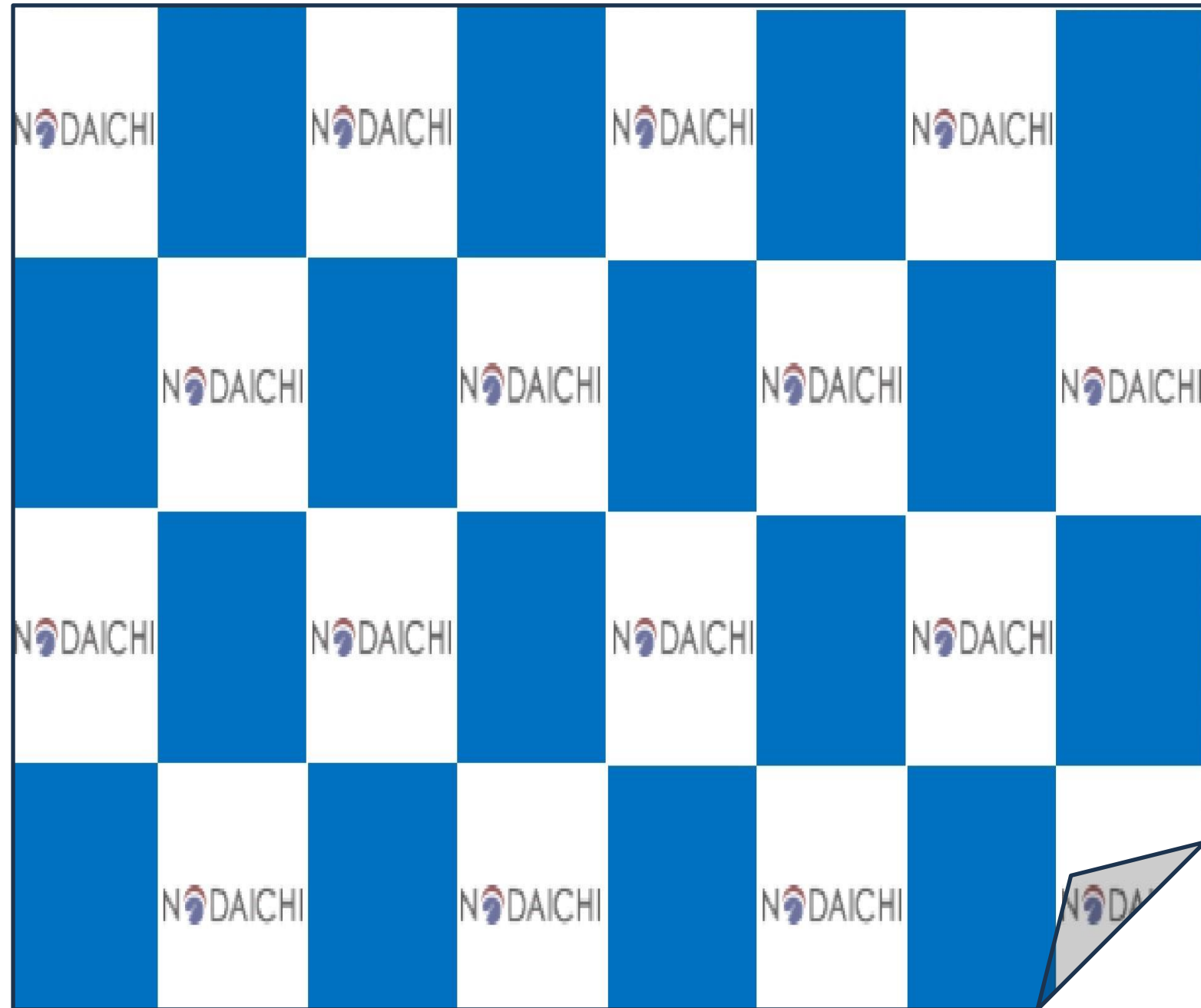
DX 取り組み事例

1

2025年10月10日



本日の目次



2

1. 自己紹介・会社概要

2. DXの取り組みについて

- ・ 背景と目的
- ・ RPA導入と生成AI活用
- ・ 生成AI活用の進め方

01 自己紹介



氏 名

野 田 明 裕

会 社 名

(株) 野 田 市 兵 衛 商 店 ・ (株) 野 田 市 電 子
B & ダ ー マ ハ カ レ ー

趣 味

ゴ ル フ



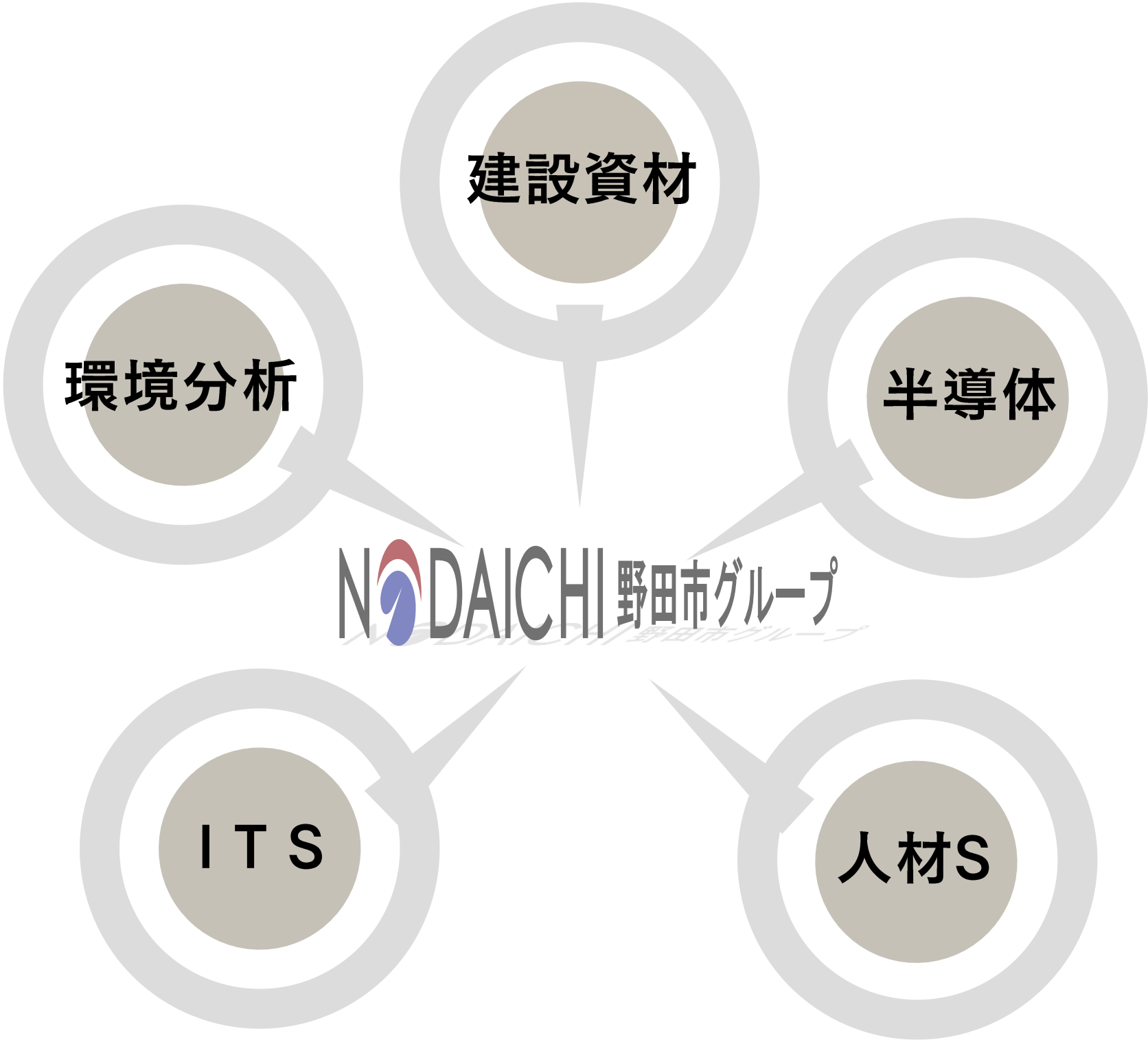
01 会社概要

野田市グループについて

株式会社野田市兵衛商店
・建設資材事業

株式会社野田市電子
・半導体製造業
・環境分析事業
・ITソリューション事業
・人材ソリューション事業

4



▼デジタル化の三段階

1. デジタイゼーション

アナログ情報をデジタルに置き換える。

2. デジタライゼーション

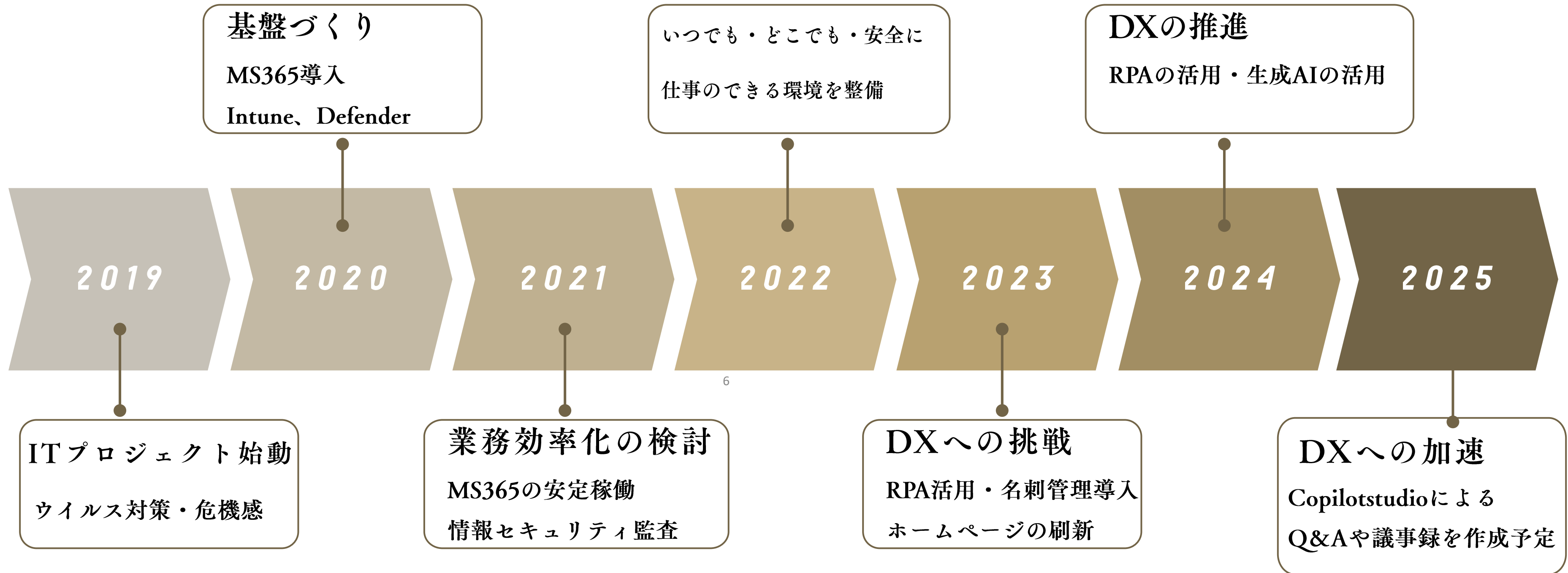
デジタル化されたデータを活用して、業務プロセスを効率化・改善すること。

3. デジタルトランスフォーメーション

デジタル技術を活用して、ビジネスモデルや組織そのものを変革し、新しい価値を生み出すこと。

02 DXの取り組みについて

『背景と目的』



02 DXの取り組みについて

『RPA』

▼ 従来の業務フロー

1. 機器から報告書データを出力
2. 担当者が内容を確認
3. 報告書様式に手入力で転記
4. 文言を人手で修正・調整
5. 報告書を完成・提出



02 DXの取り組みについて

『RPA×生成AI』

▼ お客様の声（ニーズ・要望）
報告書を〇〇にしてほしい等
⇒ 機器から出力される報告物が物足りない

▼ 課題
人による転記と文言修正等により
報告書作成に時間がかかる

02 DXの取り組みについて

『RPA×生成AI』

『RPA×生成AI』

1. 機器から報告書データを出力

2. 担当者が内容を確認

3. 報告書様式に手入力で転記

4. 文言を人手で修正・調整

5. 報告書を完成・提出

RPAで自動転記

生成AI活用

02 DXの取り組みについて 『RPA』

RPAとは？

『定型業務の自動化』

パソコン上のすべての操作を自動化可能
マウス操作・キーボード操作などパソコン上で行うすべての操作（作業）が対象です。

02 DXの取り組みについて

『RPA』騒音測定

▼システム

出力報告書そのものが出力されない

▼お客様の要望

数値だけでなく、グラフも確認したい

▼追加作業

測定値をExcelフォーマットの報告書に手作業で転記

▼課題

完全に人手に依存していた

▼RPA導入効果

システム数値をExcel報告書へ自動転記



02 DXの取り組みについて

『RPA』 マスクフィットテスト

▼システム出力

個人ごとに1枚の報告書が出力される

例：30名対象 → 30ページの個別報告書

▼お客様の声

一人一枚ではなく、全体を一覧にまとめてほしい

▼追加作業

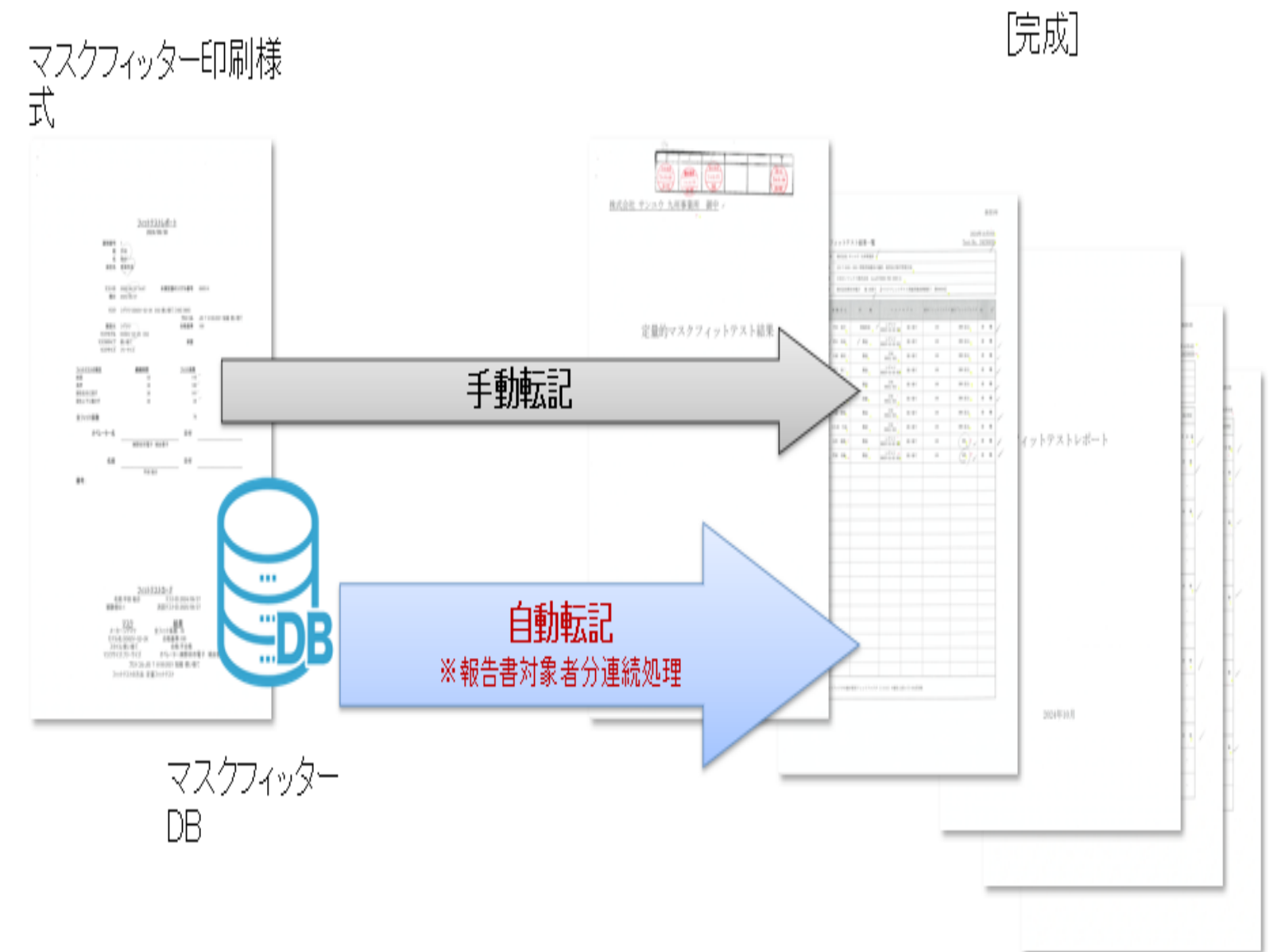
一覧はExcelで作成し、個別報告書から数値を転記

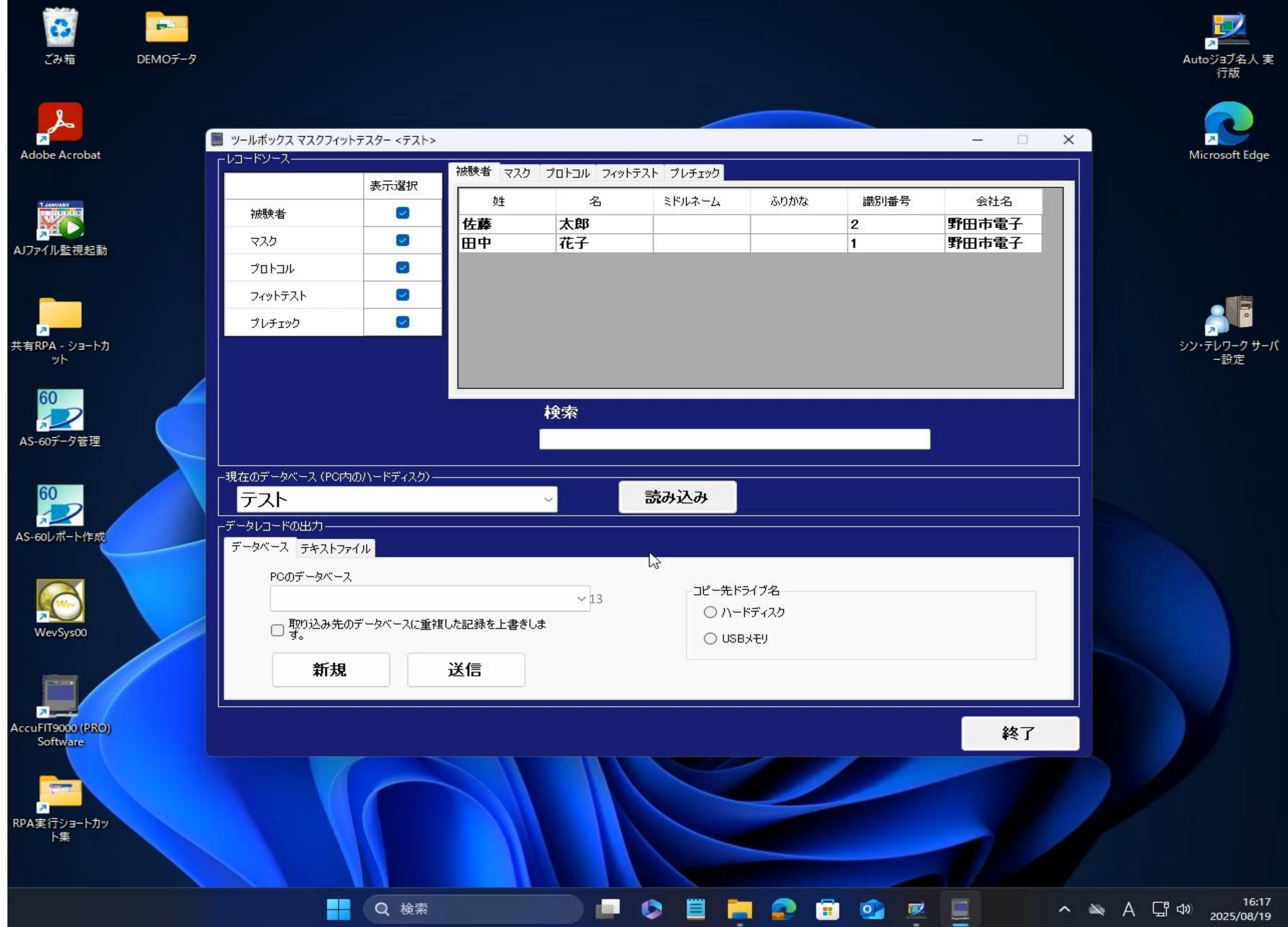
▼課題

人数が多いと転記作業が膨大

▼RPA導入効果

個別報告書からExcel一覧への転記を自動化





02 DXの取り組みについて

『生成AI』

生成AIを活用し、報告書の文言の修正

読みやすく、かつ専門性を保った表現に整える

担当者の負担軽減と品質の安定化を実現

02 DXの取り組みについて

『RPA×生成AI』

『導入後の効果』

課題	解決前	解決後（RPA・AI導入）
報告書の納期	残業で対応	自動転記で納期短縮
		※1768時間削減・納期2日短縮
報告書の品質	人手で文言調整	AIで文言品質向上
顧客満足	高いが現場負担大	さらに高くなり、現場負担も軽減

02 DXの取り組みについて

『生成AI』

生成AI「活用」18% 前年の2倍超に 熊本県内の経営者意識調査

熊本日日新聞 2025年2月4日 18:50

熊本日日新聞社と地方経済総合研究所（熊本市）が熊本県内の企業を対象に2024年11～12月に実施した経営者意識調査で「チャットGPT」に代表される生成人工知能（AI）を「活用している」と答えた企業は18・8%だった。2割に届かなかったものの、前年調査の7・8%からは2・4倍に増えた。

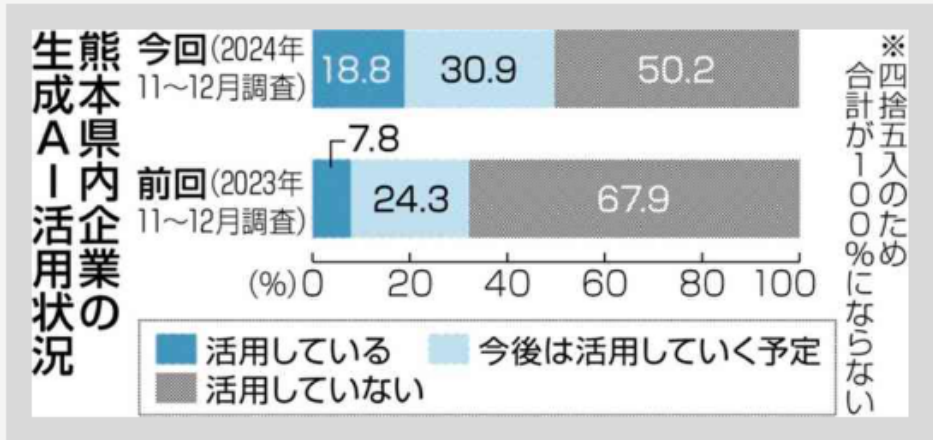
「今後は活用していく予定」は30・9%と3割に達した。前年からは6・6ポイント伸び、生成AI活用が徐々に広がっていることがうかがえた。「活用していない」は50・2%だった。

「活用している」と答えた企業を業種別にみると、運輸・情報通信が30・0%で最多。卸・小売19・3%、建設18・5%、サービス18・4%、製造18・0%と続いた。

活用目的（複数回答）は「ビジネス文書の作成」が68・9%、次いで「提案書など企画資料の作成」52・4%、「データ分析」43・7%、「アイデア出し」が41・7%だった。

生成AIの活用に関する社内ルールを「策定済み」は10・5%、「未策定」は61・0%、「今後策定する予定」は28・6%だった。

調査は、県内に本社や拠点を持つ210社が答えた。（岩崎皓太）



02 DXの取り組みについて

『生成AI』

▼生成AI活用状況（2025年4月時点）

Copilot53% ・ ChatGPT39%

02 DXの取り組みについて

『生成AI』

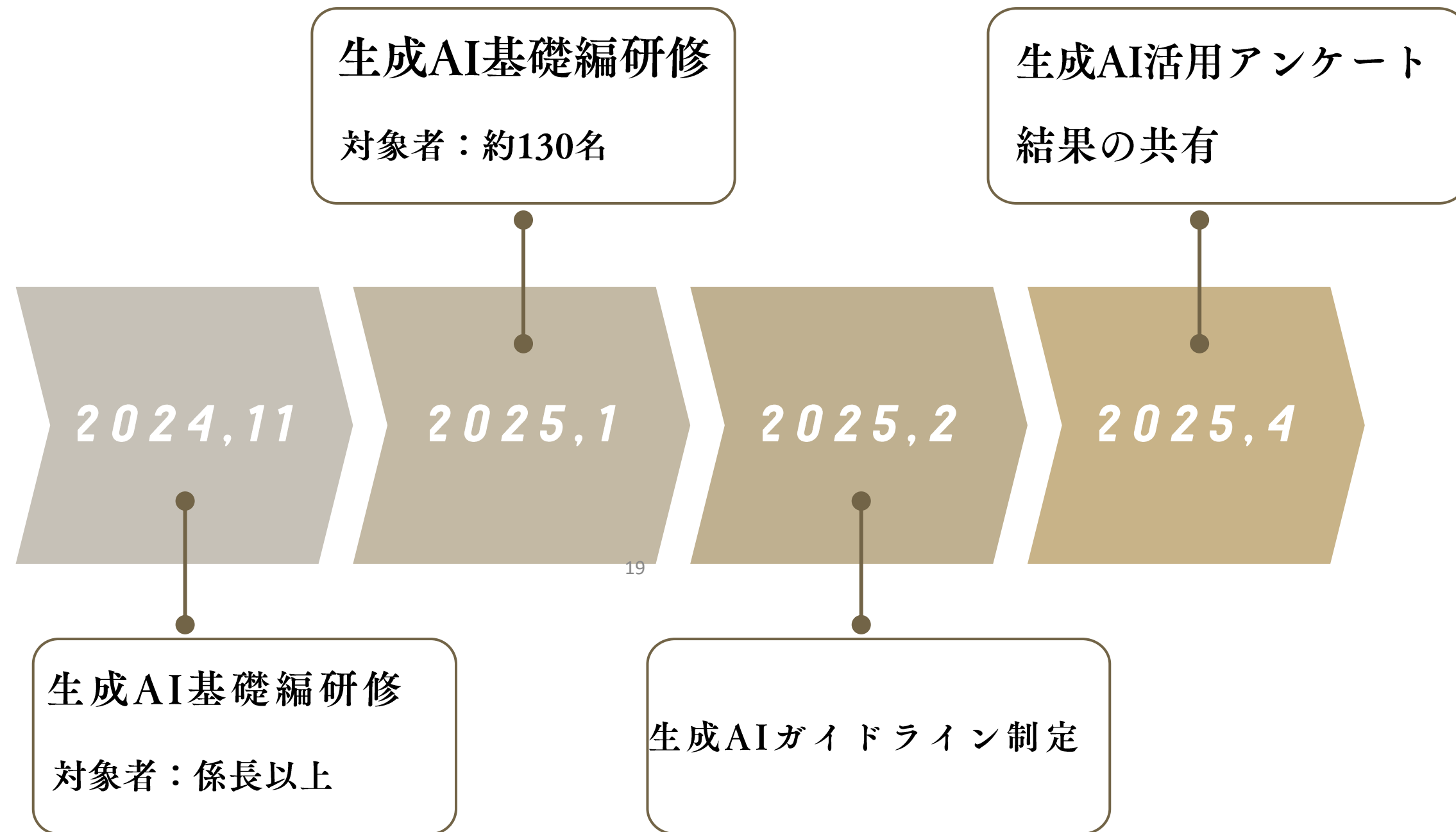
▼学習データの偏りから、結果にバイアスが生じ
偽情報が拡散される可能性も否めない

▼生成AIは大量のデータを学習するため、個人情報の取り扱いや
漏洩など、安全性・プライバシーに関するリスクがある

→ ・ データのマスキング ・ 社内ルールの策定

02 DXの取り組みについて

『生成AI活用の進め方』



02 DXの取り組みについて

『生成AI』

AI Labo

社内会議室がAI研修会場に！

”移動ゼロ・時間ロスなし”で、業務に直結する生成AI研修を社内で！

訪問出張セミナー

AI研修に行かせたいけど、業務を止められない…

会場までの移動時間や交通費がもったいない

1人ではなく複数名で受講させたい

参加者1人だけだと社内展開がしづらい…

こんな課題ありませんか？

AIを取り込みたいけど、研修日と予定が合わない…

生成AIを業務で使いたいが何から始めれば…

社内にAIを浸透させたいが、まずは数名で体験したい

訪問出張型のメリット

講師が御社へ訪問するため、業務時間を有効に使えます

社内の複数名が一度に参加可能（業務時間を有効活用）

実務を題材にカスタマイズ対応でAI研修を自社の課題で学べる

開催概要/料金/お申込み

対象：企業・自治体・団体(部門単位も歓迎)

人数：5～20名程度

形式：出張（県内エリア中心・他地域も応相談）

所要時間/料金：内容に応じて個別にご相談

お気軽にお問い合わせ下さい

主催・(株)野田市電子 NODAICHI

お問い合わせはこちら／096-324-0125

(株)野田市電子 生成AIセミナー

(担当：吉村)

mail：yoshimura.s@nodaichi.co.jp

20

AI Labo

即実践！

業務改善セミナー

【DAY1】

①生成AIと業務改善
生成AIの基礎知識、業務改善における活用の学習、生成AIツールに触れ、活用アイデア創出

②テキスト生成AIで身近な業務を改善
ChatGPT・Gemini等の活用事例、ドキュメント作成、メール作成、プログラミング支援を体験

※PCとGoogleアカウントをご準備ください

※PCはレンタルも可能です

【DAY2】

①現状分析の徹底理解と実践
現状分析の目的と重要性、生成AIを活用した業務フロー図作成、データ収集と可視化の実践練習

②対策立案と生成AI活用事例
対策案の検討、生成AIを活用した解決策の検討(アイデア出し、プロトタイプング)、提案資料作成

日時

2025 09/17水, 18木

両日 10:00 ~16:00

会場

【熊本市流通情報会館_603研修室】
熊本市南区流通団地 1 丁目24番地

定員

先着 15名

一緒に改善しよう!!

費用

【通常価格】
5時間×2日間 8万円

講師

経験豊富な講師による最新のAIツールを紹介

末廣 修平氏

(株式会社Dooox執行役員)

山口県岩国市出身。
ソフトバンクで法人向け事業に従事する傍ら
社内の業務改善プロジェクトに多数参加。
2022年より現職で中小企業の経営支援や
地域活性化事業に携わる。

主催・(株)野田市電子 NODAICHI

協力・(株)Dooox Dooox

行動で世の中を変えていく

お問い合わせはこちら／096-322-0050

(株)野田市電子

(担当：吉村・石川)

お申し込みは

フォームから

20

今後の展望

▼RPAや生成AIを活用し、お客様の声（ニーズ）に幅広く対応
日報データの活用 ・ Q&Aや議事録作成



ご清聴ありがとうございました。

NODADAICHI 野田市グループ

